



かけはし

令和5年8月（第5号）

公益財団法人 豊島修練会

事務局：成美教育文化会館（内）

TEL: 042-471-6600 FAX: 042-473-4590

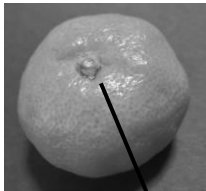
HP「成美教育文化会館」で検索

モモやミカンの実に隠された真実とは？

夏を代表する果物のひとつであるモモも、八月の終わりになると、ミカンなどの秋の果物に主演の座をゆずるようになります。

ところでモモの実には、どれにも一本の深いすじがついていますが、これにはどんな訳があるのでしょうか。モモには、どの実にも同じところに同じようなすじがついていますから、傷でないことはわかります。

モモは、花のめしべの一部が、ふくらんで実になったものです。じつは、花を形づくっているおしべやめしべ、花びらなどは、すべて、葉が変化してできたものです。ですから、モモの実も、もとをたどれば、葉が変化して実になったもの、ということになります。表面に縦一本のすじがついているのは、モモの実が一枚の葉からできている証拠です。表面に見られるすじは、葉が巻いてくっついたところのなごりなのです。ウメやスモモにも同じようなすじが見られます。



ミカンの場合は、一番外側の皮をむくと、この実が十枚前後の葉からできていることがわかります。ミカンの場合は、

中のひとつひとつの袋が、一枚の葉に当たる部分です。

その証拠に、袋の背中側を見ると、縦と横に伸びる葉のすじが、白く残っている様子が見られます。

私たちが食べている果汁のつまった部分は、簡単にいうと、葉の裏に生えた毛に、果汁がたま

ったものです。つまり、私たちはミカンの葉の裏の毛を食べているの

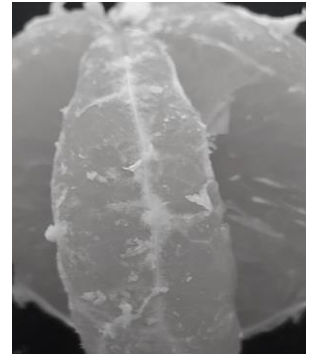
です。また、よく実ったミカンのへたをと

ると、それぞれの袋に養分などを送っていた

管が、袋の数だけ白いあととして見るができます。このような実では、外側の皮をむかないでも、へたとれば、中の袋の数を、およそ言い当てるができます。

果物は、つくりそれぞれ特徴があります。食べる前によく見てみましょう。スイカも横に輪切りにしてみると、面白いつくりをしていることがわかります。

(T. Y.)



▲スイカを輪切りにすると……

▲「へた」をとったあと